

	2011年1月	2011年2月	2011年3月	最近の経済動向
世界	-世界GDP10年 3.9% 11年 3.3%、米 2.8 2.8、ユーロ 1.7 1.4、中国 10 8.7、日本 4.4 1.8 -世界直接投資10年:発展途上国向け全体の53%48兆円 -世界失業率10年末 6.2%、先進国 8.8%、 -パソコン世界出荷10年 13.6%増	-政治:リビア内紛・原油高騰 -G20 財相会合世界経済不均衡是正 -NY原油 25日 104ドル -世界半導体売上1月 14%増、10年:32%増 24.5兆円 -GDP:10年:中国 5.8兆ドル 2位、日本 5.4兆ドル	-世界GDP:10 11年:日 3.9 1.6、 米 2.8 3.0、独 3.6 2.2、仏 1.5 1.6 英 1.3 2 -NY原油 7日 106ドル -世界半導体製造装置10年 2.5倍	・中国、インド、NEIS/ASEAN 経済は内需拡大等で成長維持し世界経済を牽引。米、日の先進国経済は新興国への輸出、投資・生産の増加等で緩やかな回復傾向。
日本	-財政・金融:11年:累積債務残高 GDP200%(ギリシャ 137%) -株価:7日 1万 235円、13日 1万 570円 -雇用:12月:失業率 4.9%0.2%改善 -物価:12月:消費者 0.4%下落 -消費:12月:消費支出 3.3%減エコー減税なし、小売業販売 2%減、新車販売台数 22.7%減4ヶ月 -受注:12月:機械 8.7%増、工作機械 63.5%増 -生産:12月:鉱工業 4.9%増自動車輸出、スマートフォン -貿易:12月:輸出 13%増、輸入 10.6%増、10年:輸出 24.4%増 67兆円、輸入 17.7%増 -収益:10-12月:営業益:キヤノン 9%増 1,000億円、リコー横這い 230億円、日立 663億円、億円、ファナック 2.7倍 307億円、エプソン 40%減 180億円、TDK40%増、日本電産 15%減、12月期:キヤノン 87%増 2,466億円、4-12月:最終益:NEC 535億円赤、今3月期:営業益:ホンダ 97%増 5,300億円、三菱重 35%増、コマツ 3.3倍 2,200億円 -投資:スズキ刷新エンジン 200億円、日本精工電動パワステ 5割増産、トヨタ・パナソニック・日立次世代電池量産計画、三菱電パワステ部品 7割増 100億円、東芝パワー半導体 3割増産、10-12月:設備投資 3.8%増	-GDP:10-12月:前期比年率 1.3%減 5 四半期ぶり -、消費 0.8%減、投資 0.5%増、輸出 0.8%減、11年:3.4~3.9% -財政・金融:長期金利 1.35%、国借金 10年末 919兆円 -株価:16日 1万 829円、25日 1万 452円 -雇用:1月:失業率 4.9%横這い -物価:1月:消費者 0.2%下落 -所得:1月:現金給与 0.2%増、勤労世帯収入 3.5%減 -消費:1月:消費支出 1%減、新車販売 16.7%減5ヶ月 -受注:1月:機械 31%増、工作機械 89%増 -生産:1月:鉱工業 4.7%増、自動車 6.3%減 -貿易:1月:輸出 1.4%増、輸入 12.4%増大幅貿易赤字 -収益:10-12月:経常利益:上場企業 24%増、純益:三菱商 91%増 918億円、パナソニック 24%増 399億円、三菱電 2倍 456億円、ニコン 96億円、キヤノン 12%減、リコー 38%減、エプソン 61%減、オリンパス 78%減、ダイキン 28%減、スズキ 4倍 121億円、4-12月:テソノ 2.6倍 1,293億円、今3月期:純益:トヨタ 2.3倍 4900億円、日産 7.4倍 150億円、経常益:上場企業 53%増、最終益:東芝 1千億円、三洋電 92億円赤、 -投資:ダイキン大型研究施設集約 300億円、12年:トヨタ、EV用重電機器販売、1月:機械受注民需前月比 5.9%増	-景気等:11 日東日本大地震、原発事故の影響拡大 -財政・金融:日銀追加的金融緩和 10兆円・大地震・市場安定 -株価:4日 1万 707円、15日 8,400円台 -物価:10日ガソリン 146円 -消費:2月:新車販売 12.4%減6ヶ月 -受注:2月:工作機械 74%増 -貿易:円 79円台 NY -投資:住友電ナトリウム蓄電池価格 1/10 小型化、ファナック・ロボット生産倍増	(前々月)・GDP10-12月は 1.1%減、消費、輸出弱い。企業業績 10-12月大幅回復続く。株価は緩やかな上昇傾向。輸出の伸び二桁に回復。投資回復傾向。所得は横這い、失業率高水準もやや回復、消費は自動車販売減少でマイナス。受注、生産は回復もやや減速。持続的な景気回復、雇用確保が最大課題、円高、車補助金廃止影響懸念 (前・当月)・GDP10-12月は 1.3%減、消費、輸出弱い。企業業績 10-12月大幅回復続く。株価は大震災で大幅下落。輸出は大幅鈍化、伸び悩み。投資回復傾向。所得は横這い、失業率は高水準横這い。消費は自動車販売減少でマイナス。受注、生産は回復もやや減速。持続的な景気回復、雇用確保が最大課題、円高、車補助金等廃止影響懸念
アジア・大洋州	-中国:0.25%利上げ貸出金利 5.81%へ、預金準備率 0.5%引上 19%へ、12月:工業生産 13.5%増、輸出 18%増 10-12月:GDP9.8%、投資 23.8%、小売 18.4%増、輸出 34.7%増、10年:GDP10.3%世界 2位、投資 24.5%増、輸出 31.3%増、歳入 100兆円超、輸出 31.3%増元 3.48%上昇、不動産投資 33.2%増 -台湾:0.125%利上げ 1.6%へ、12月:海外受注 15%増 10-12月:UMC純益 46%増、エプソン 10%増、友達 320億円赤字、10-12月:GDP6.5%、純益:アスス 29%減 -韓国:0.25%利上げ 2.75%へ、10-12月:GDP 前期比 0.5%増、消費 0.3%、輸出 2.4%、営業益:サムスン 13%減、LG 180億円赤、10年:GDP 6.1%、新車販売 5.1%増 146万台、プラント受注 39%増 5.3兆円、現代自 78%増、サムスン営業益 58%増 1.28兆円、11年:サムスン設備・R&D 投資 3.1兆円 -シンガポール:10-12月:GDP12.5%増4四半期 2桁、10年:GDP14.7%増一人当たり 4.2万ドル日本抜く -インドネシア:10年:自動車販売 57%増、消費者物価 7% -タイ:0.25%利上げ 2.25%へ、10年:輸出 28%増、消費者物価 3.3%、自動車生産 65%増 164万台 -フィリピン:10年:GDP7.3%、新車販売 27.2%増 -インド:12月:新車販売 29%増、10年:34%増 304万台	-アジア:通貨上昇元、ウォン、22日アジア株大幅下落香・韓・台 2%下落 -中国:0.25%利上げ貸出金利 6.06%、沿海部人手不足深刻、18日預金準備率 0.5%引上げ 20%へ、1月:輸出 37.7%増、輸入 51%増、新車販売 13.8%増、対中投資 23.4%増、10-12月:純益:レノボ 25%増 83億円、5ヵ年計画:GDP7% -台湾:1月:輸出 17%増ドル 15ヶ月二桁、海外受注 13.5%増、10-12月:最終損:奇美 241億台ドル、10年:GDP10.8%増 -韓国:12月:鉱工業生産前月比 2.8%増、1月:輸出 46%増ドル、輸入 32.9%増、新車販売 1%増、消費者物価 4.9%増、10年:鉱工業生産 16.7%増、純益:サムスン 65%増 16兆円、LG 45%減、現代自 78%増 5.3兆円、現代重 75%増 3.8兆円 -ASEAN5カ国:GDP:10-12月:8.4%増 10年:8%増 -タイ:1月:自動車生産 41%増、消費者物価 3% -マレーシア:10-12月:GDP4.8%増 -インドネシア:0.25%利上げ 6.75%へ、1月:輸出 35.4%増、消費者物価 7%、10年:GDP6.1%、輸出 15%、投資 8.5% -インド:12月:鉱工業生産 1.6%増、10-12月:GDP8.2%、純益:TCS 35%増、1月:新車販売 22%増、インフレ率 8.2%	-アジア:株価全面安 -中国:2月:新車販売 4.6%増 23ヶ月ぶり1桁、輸出 2.4%増、輸入 19.4%増、消費者物価 4.9%、11年:GDP 8%程度、財政支出 18%増 125兆円 -台湾:2月:輸出 27%増ドル 16ヶ月二桁 -韓国:0.25%利上げ年 3%へ、2月:消費者物価 4.5% -ASEAN5カ国:1月:新車販売 25%増、タイ 38%増、ベトナム 40%増 -フィリピン:2月:消費者物価 4.3%増 -インドネシア:2月:消費者物価 6.8%上昇 -タイ:0.25%利上げ年 2.5%へ -ベトナム:1-2月:消費者物価 12% -インド:1月:鉱工業生産 3.7%増、2月:新車販売 18%増 30万台、消費者物価 8.3%	(前々月)・中国は固定資産投資・生産・消費高水準、輸出も好調もインフレ傾向。韓国、台湾は輸出・生産・投資、企業業績やや減速も好調維持、GDPも比較的高水準。シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンも内需、輸出好調で GDP 比較的高水準。インド経済好調持続。持続的成長が課題。中国、インド、インドネシア、ベトナム等でインフレ懸念 (前・今月)・中国は旧正月でやや低下したものの固定資産投資・生産・消費、輸出は堅調。但しインフレ傾向続く。韓国、台湾は輸出・生産・投資、企業業績やや減速も好調維持、GDPも比較的高水準。シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンも内需、輸出好調で GDP 比較的高水準。インド経済好調持続。持続的成長が課題。中国、インド、インドネシア、ベトナム等でインフレ懸念

北米	<p>-GDP:10-12月:前期比年率2.8%増、消費4.1%増、投資5.3%増、輸出9.6%増、10年:GDP2.9%増</p> <p>-景気:FRB11.12月経済緩やかに拡大</p> <p>-財政・金融:FOMC6月末まで国際買入れ(金融緩和)、10年度:純債務1,128兆円</p> <p>-株価:4日1万1,722ドル</p> <p>-雇用:12月:失業率9.4%0.4ポイント低下</p> <p>-物価:12月:前月比消費者0.5%増、住宅価格2.4%下落</p> <p>-消費:12月:個人消費前月比0.7%増、小売売上高7.9%増、新車販売11.1%増114万台、住宅着工前月比4.3%減、10年:新車販売11.1%増1,158万台</p> <p>-受注:12月:耐久財13.6%増</p> <p>-生産:12月:鉱工業前月比0.8%増</p> <p>-収益:10-12月:純益:主要500社36%増、GE51%増3,700億円医療機器、プラント、鉄車、アップル78%増4,960億円、IBM9%増53億ドル、インテル48%増2,805億円、TI44%増、マイクロソフト0.4%減5,500億円、セロックス5%減140億円、フォード79%減1.9億ドル、クライスラー160億円赤字、ホーイング8%減11.6億ドル、10年:GM販売12%増トヨタと並ぶ、中国販売米抜く</p>	<p>-財政・金融:財政赤字11年度137兆円最悪</p> <p>-景気:自律的な持続回復に入る、雇用回復力弱伊(FRB議長)、小幅なペースで拡大続ける(地区連銀)。</p> <p>-株価:2日1万2,040ドル、16日1万2,227ドル</p> <p>-雇用:1月:失業率9%0.4ポイント低下</p> <p>-物価:1月:消費者前月比0.4%増</p> <p>-消費:1月:個人消費前月比0.2%増、小売売上高前月比0.3%増7ヶ月+、小売売上高4.8%増、卸売上高15.4%増、新車販売17.3%増、住宅着工2.6%減</p> <p>-生産:1月:鉱工業前月比0.1%減</p> <p>-貿易:12月:輸出17%増、輸入14.4%増、1月:輸出19.8%増、輸入22.1%増、10年:輸出20.6%増、輸入22.9%増</p> <p>-収益:10-12月:GM420億円、10年:純益:GM3,800億円黒字、11-1月期:ドル2.8倍780億円、1月期:純益:シスコ18%減1,250億円、</p> <p>-投資:インテル14ナノ半導体生産4,150億円</p>	<p>-株価:2日1万2,058ドル、11日1万1,918ドル</p> <p>-雇用:2月:失業率8.9%0.1ポイント低下、19万人雇用増</p> <p>-消費:2月:小売売上高8.9%増、新車販売台数27.3%増、99万台、GM、トヨタ40%以上増</p> <p>-開発・投資:アップル・タブレット端末iPad2発表</p>	<p>(前々月)・GDPは10-12月3.2%で6期連続+。大幅な財政赤字。株価は上向き傾向。企業業績10-12月迄5期二桁増好調。輸出は復調。失業率高水準も低下傾向、個人消費は上向き傾向、車販売回復傾向、住宅再び悪化。投資は回復傾向。受注、生産回復傾向。高水準の失業率、財政赤字拡大が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題(前・今月)</p> <p>・GDPは10-12月2.8%で6期連続+。大幅な財政赤字。株価は頭打ち傾向。企業業績10-12月迄5期二桁増好調。輸出は好調。失業率高水準も低下傾向、個人消費は上向き傾向、車販売回復傾向、住宅再び悪化。投資は回復傾向。受注、生産回復傾向。高水準の失業率、財政赤字拡大が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題</p>
欧州	<p>-GDP:10-12月:ユーロ2%外需、設備投資、独4%、仏1.5%、英1.7%、蘭2.4%、伊1.3%、スベ0.6%、</p> <p>-財政・金融:ポルトガル財政懸念、欧州中銀政策金利1%で据置、ポーランド0.25%利上げ3.75%へ</p> <p>-雇用:12月:失業率:ユーロ10%横這、独6.6%、仏9.7%、蘭4.3%、スベ20%、ポーランド10%</p> <p>-消費:12月:小売売上高:ユーロ0.9%減、独1.3%減、仏3.2%、英0.9%、スベ5%減、ポーランド10%、新車販売:独7%増1年1ヶ月ぶり+、10年:新車販売:欧州5.6%減、独23.4%減、仏2.2%減、英1.8%増、伊9.2%減、蘭24.9%増、ポーランド4.1%増</p> <p>-製造業受注:12月:ユーロ19%増、独27%増、仏4%増、英18%増、伊18%増、蘭25%増、スベ0.1%減、ポーランド10%増</p> <p>-鉱工業生産:12月:ユーロ8%増、独12%増、仏8%増、英5%</p> <p>-収益:10-12月:純益:シメクス16%増1,920億円産業機器、エルクール、医療、フリップス84%増520億円、ノキア21%減830億円、10年:ノキア2.1倍18.5億ユーロ、フィアット590億円黒字、12月期:VW7.1倍7,700億円、ルノー3,900億円黒字</p>	<p>-GDP:10年:ユーロ1.7%、独3.6%輸出主導</p> <p>-財政・金融:欧州中銀政策金利1%で据置</p> <p>-景気:景況感指数改善3年ぶり高水準</p> <p>-雇用:1月:失業率:ユーロ9.9%0.1ポイント改善</p> <p>-物価:1月:消費者物価:ユーロ2.3%、独1.4%、蘭2%、英4%、スベ3%、ポーランド3.5%</p> <p>-消費:1月:新車販売:欧州2%減、独17%増2ヶ月+、仏8%増、英12%減、伊21%減、蘭20%増、スベ24%減、ポーランド9%減</p> <p>-貿易:12月:ユーロ:輸出34%増、輸入34%増</p> <p>-収益:12月期:独自動車メーカー大幅回復:VW6.8倍68億ユーロ、BMW15倍32億ユーロ、ダイムラー47億ユーロ</p>	<p>-GDP:11年:ユーロ1.6%増</p> <p>-株価:15日欧州株下落・日本大地震で</p> <p>-物価:2月:消費者2.4%</p> <p>-消費:2月:新車販売:独15%増3ヶ月+、22.4万台</p>	<p>(前々月)・GDP10-12月前期比0.3%増輸出主導で回復傾向。欧州株価低迷からやや回復へ。企業業績は回復傾向。輸出増加傾向。投資低迷も将来投資有。失業率最悪の水準、車販売は昨年4月以降マイナス、個人消費は低迷。受注、生産は回復傾向。信用不安解消、景気回復、雇用確保、が課題(前・今月)・GDP10-12月2%増、輸出主導で回復傾向。欧州株価低迷からやや回復へ。企業業績は回復傾向。輸出好調。投資低水準も回復傾向。失業率最悪の水準、車販売はマイナス幅縮小、個人消費は依然低迷。受注、生産は回復傾向。信用不安解消、景気回復、雇用確保、が課題</p>
中東ア	<p>-サウジアラビア:10年:財政黒字2.4兆円</p> <p>-トルコ:0.25%利上げ年6.25%へ、10年:自動車販売38%増79万台</p> <p>-カタール:日揮天然ガス処理設備受注2,500億円</p>	<p>-政治情勢:エジプト大統領辞任、中東各地にデモ～イラン、アルジェリア、リビア、バーレーン、リビアへ～</p>	<p>-政治情勢:リビア情勢流動的</p>	<p>・主要国経済はアラブ政変で停滞気味。太陽光、原子力、電力、石化プロジェクトへの影響懸念。アラブ政変の拡大が懸念材料、イラク・アフガニスタンの安定化、景気回復が課題</p>
中南米	<p>-ブラジル:0.5%利上げ年11.25%へ、10年:新車販売11.9%増351万台世界第4位、GDP11～14年5.9%目標</p>	<p>-ブラジル:1月:新車販売14.7%増、10-12月:GDP前期比0.7%増、10年:GDP7.5%増</p> <p>-メキシコ:GDP:10-12月前期比年率5.1%増輸出増、10年:5.5%増、11年:4%増</p>	<p>-ブラジル:0.5%利上げ年11.75%へ</p>	<p>・ブラジル経済は景気回復、株価上昇もインフレ・利上げで冷却化。メキシコ経済も回復傾向。持続的成長が課題。</p>
露東欧	<p>-ロシア:10年:GDP4%増、原油生産2%増、5.4億ドル、世界1位、新車販売30%増191万台</p>	<p>-ロシア:0.25%利上げ年8%へ、1月:新車販売72%増12.7万台</p>	<p>-ロシア:2月:新車販売80%増16.5万台</p>	<p>・ロシアは石油価格の回復、新車販売、投資等内需中心に経済回復。持続的回復が課題。北方領土問題が懸念材料。</p>